



理事長 中村 太郎

愛される「太陽の家文化」を創造します。

太陽の家は、創設者中村裕の不撓不屈のチャレンジ精神を尊重し、大切に引き継ぎながらも、新しい姿を求めて、たゆまず前進していきます。第一は、「どんなに重度の障がいがあっても、ありのまま受け入れられ、人間としての尊厳が保たれる社会の実現」をリードしていきます。第二は「成長、拡大」とは異なり、本来日本人が大切にしてきた「共生」「調和」に重きを置く風土の確立です。第三は「地域密着」です。障がいのある方々が施設で生活するのではなく、一市民として地域で自立する暮らしを応援します。そして地元大分に愛される「太陽の家文化」を創造します。

社会福祉法人 太陽の家 理事長
中村 太郎

理念

No Charity, but a Chance!

～人間としての尊厳が保たれる社会の実現～

沿革

- 1965年(昭和40年)10月 太陽の家開所 (5日)
- 1966年(昭和41年) 2月 社会福祉法人太陽の家として設立認可
- 4月 身体障害者授産施設開所
- 1971年(昭和46年) 6月 重度身体障害者授産施設開所
- 1972年(昭和47年) 4月 身体障害者福祉工場開設
- 1975年(昭和50年) 6月 第1回フェスティック大会開催 (大分県)
- 1977年(昭和52年)12月 スーパーマーケットサンストア開店
- 1980年(昭和55年) 7月 大分銀行太陽の家支店開店
- 1981年(昭和56年) 4月 重度身体障害者更生授産施設ゆたか寮開所
- 11月 第1回大分国際車いすマラソン大会開催
- 1984年(昭和59年) 4月 愛知太陽の家開所
- 7月 創設者中村裕博士逝去 (57才)
- 1986年(昭和61年) 4月 京都太陽の家開所
- 1988年(昭和63年) 4月 身体障害者療護施設ゆうわ開所
- 6月 身体障害者福祉ホーム大神ハイツ開所
- 1991年(平成 3年) 7月 身体障害者通所授産施設開所
- 1999年(平成11年) 4月 テイサービスセンターゆうわ開所
- 2004年(平成16年) 4月 太陽の家授産場・重度授産場を廃止し、第一授産センター、第二授産センター、第三授産センターに再編成
太陽の家障害者生活支援センター開所
- 2005年(平成17年) 1月 ホームヘルプセンターゆうわ開所
- 2月 ケアプランサービスセンターゆうわ開所
- 9月 障害者相談支援センターたいよう開所
- 2007年(平成19年)10月 亀川サンクリニック開院
- 2009年(平成21年)10月 スワンカフェ&ベーカリー太陽の家店開店
- 2010年(平成22年) 4月 障がい者就業・生活支援センターたいよう開所
- 2011年(平成23年) 8月 サンストア移転・新店舗オープン
- 2011年(平成23年)10月 本館完成



別府本部



サン・コミュニティ・大神



愛知事業本部



京都事業本部

別府本部

〒874-0011 大分県別府市内蔵1393番2
電話 0977 (66) 0277 (代表)
FAX 0977 (67) 0453

愛知事業本部

〒443-0103 愛知県瀬西市形原町北浜28-1
電話 0533 (57) 1611 (代表) FAX 0533 (57) 1606

サン・コミュニティ・大神

〒879-1504 大分県速見郡日出町大神1402-6
電話 0977 (72) 1665 (代表)
FAX 0977 (72) 1519

京都事業本部

〒601-8155 京都市南区上鳥羽橋ノ森上河原37-2
電話 075 (681) 1380 (代表) FAX 075 (681) 1473



社会福祉法人 太陽の家

URL <http://www.taiyonoie.or.jp/>



JAPAN SUN INDUSTRIES

社会福祉法人

太陽の家



障がい者の“働く・暮らす・憩う”をサポートします

太陽の家は障がい者が働き、生活する施設であり、地域社会の一住民として普通に暮らしています。創立以来、障がい者の働く場づくりに取り組み、多くの人が社会復帰しています。たとえ身体に障がいがあっても働く能力は関係なく、太陽の家では、仕事や生活の場においてユニバーサルな環境づくりに努めています。また、日常生活で常に介助を必要とする重度の障がい者も地域と交流を深めながら生活を楽しています。障がい者にとっての太陽でありたい、それが太陽の家の願いです。



旧本館

別府本部 (大分県別府市)

■ 施設概要

就労移行支援
就労継続支援B型
施設入所支援
指定障害者支援施設
障害者相談センターたいよう
障がい者就業・生活支援センターたいよう
亀川サンククリニック
就労継続支援 (A型)
別府工場
サンストア (スーパーマーケット)
スワンペーカリー太陽の家
コミュニティセンター (多目的ホール)
サンスポーツセンター (体育館、プール、トレーニングルーム)
憩の家 (宿泊施設)
太陽の湯 (公衆浴場)
太陽住宅 (簡易住宅)

■ 共同出資会社

共同出資会社とは、太陽の家と企業が資本金を出し合って設立した会社で、現在8社あり、多くの障がい者が働いています。これらの会社では、企業が生産の技術や運営・管理を行い、太陽の家が健康管理や日常生活などを支援するユニークなシステムを採用しています。ISO9000シリーズやISO14001などの国際規格の認証を取得し、品質管理や環境保全にも努めています。

オムロン太陽(株) 富士通エフサス太陽(株)
オムロン京都太陽(株) ホンダ太陽(株)
ソニー・太陽(株) ホンダアールアンドデー太陽(株)
デンソー太陽(株) 三菱商事太陽(株)

■ 協力企業

地元企業などから授産訓練のためにさまざまな仕事を提供していただいています。障がい者の経済活動をより身近なものとするため金融機関の支店を誘致し、スーパーマーケット「サンストア」も運営しています。

(株)電子印刷センター
日本テキサス・インスツルメンツ(株)
(株)まるひで
(印)大分タキ
(株)大分銀行
(株)三洋産業
(株)菊家
六興電気(株) など

■ 授産作業科目

制御機器科	制御機器の組立
精機科	自動車などの電装部品組立
印刷科	印刷製本
情報処理科	コンピューターソフト開発 DTP
電機科	制御機器の組立
機材科	自動車などの電装部品組立
電子科	書籍電子化の検査
紙材科	コピーフィルター生産
電材科	電気工事関係部品加工
FJ機器科	ATM自動機・パソコンなどの修理
環境科	園芸作業 環境整備
工芸科	軽作業 (ギフト包装 各種箱折 工業部品の組立) オリジナル製品製作 (革細工など)
福祉用具科	福祉用具の修理・適合調整



▲ スーパーマーケット「サンストア」
だれもが使いやすい商品陳列や通路幅などを考慮した、働く人、買い物する人の双方にやさしいお店です。
◀ 働きやすいように工夫された工場
オムロン太陽株式会社

■ 就労継続支援(A型)別府工場

働く意欲と能力を持ちながら、職場の設備・構造上の不備、通勤の問題などのために一般企業に雇用されることの困難な障がい者が、生きがいのある社会生活を営むことができるように支援することを目的としています。別府本部ではオムロン太陽(株)とともに工場を運営しています。

■ 障害者相談支援センターたいよう

地域で生活する障がいのある人を対象に、日常生活上の相談や社会生活を高める支援、社会資源の活用、住宅改修や福祉機器利用など生活環境の改善について幅広く相談に応じ、在宅生活を支援しています。相談は無料で秘密厳守です。



■ 障がい者就業・生活支援センターたいよう

地域で生活する障がいのある人を対象に、就業と生活に関する助言や職業準備訓練の斡旋などを一体的に関係機関と連携しながら行います。

亀川サンククリニック

障がいのある方だけでなく、地域の方にも気軽に受診していただける医療機関として開設しています。リハビリテーション室を併設しており、理学療法士による運動療法と各種物理療法に対応しています。禁煙外来も行っていきます。

診療項目：整形外科・内科・外科・リハビリテーション科



余暇活動も楽しんでいます

太陽の家では、多くの障がいのある人が仕事の後や休日にさまざまな余暇活動を楽しんでいます。スポーツでは車いすマラソンなどの陸上競技、車椅子バスケットボール、テニス、サッカー、ローリングバレーなどに挑戦し、国内外の大会に参加しています。重度の障がいのある人を中心とした車椅子ツインバスケットボールやボッチャ、卓球バレー、フライングディスクも盛んです。また、囲碁、将棋、オセロ、絵画、短歌、詩など、さまざまな趣味を楽しんでいます。



車椅子バスケットボール

卓球バレー

サン・コミュニティ・大神 (大分県日出町)

生涯不安なく暮らしていけるよう支援します

サン・コミュニティ・大神は、大分県福祉のまちづくり推進事業の一環として設立された障害者支援施設やデイサービスセンター、福祉ホーム、ソニー・太陽株式会社があるコミュニティです。サン・コミュニティ・大神では、働く障がい者と日常生活で介護を必要とする重度の障がい者が交流を深めながら生活しています。



豊かな自然に囲まれたサン・コミュニティ・大神

■ 施設概要

指定障害者支援施設ゆうわ

日常生活で常に介護を必要とする重度の身体障がい者を対象に、介護やリハビリテーション、レクリエーションなどを行い、家庭的な雰囲気の中で明るく楽しい生活ができるように配慮しています。

デイサービスセンターゆうわ

日出町・杵築市・国東市・別府市の在宅の障がい者を対象に、送迎・食事・入浴・介護・創作活動・レクリエーション・リハビリテーションなどのデイサービスを行っています。

ショートステイ事業

在宅の障がい者が障害者支援施設ゆうわに短期間泊泊し、介護や機能訓練のサービスを受ける短期入所事業を行っています。

福祉ホーム大神ハイツ

主に身体障がい者のために、日常生活に適したバリアフリーの居室やその他の設備などを、低廉の料金で提供しています。



クリスマス会



ボウリング大会



デイサービスの送迎

太陽の家障害者生活支援センター

地域で生活する障がいのある人を対象に、日常生活上の相談や社会生活を高める支援、社会資源の活用、住宅改修や福祉機器の利用など生活環境の改善に関わる幅広い相談に応じ、在宅生活を支援しています。

ホームヘルプセンターゆうわ

在宅の身体や知的の障がい者に対し、身体介護・家事援助・相談・助言などの障害福祉サービスによる居宅介護、ならびに高齢者を対象にした介護保険による身体介護や家事援助などの訪問介護を行います。

ケアプランサービスセンターゆうわ

介護保険による高齢者を対象にした事業で、利用サービスの種類や内容などのケアプランを作成し、サービス提供事業者や介護保険施設などの連絡調整を行います。



創業者 中村 裕博 博士 (1927~1984)

1927年大分県別府市生まれ、九州大学医学専門部を卒業後、同大学の整形外科医局に入局し、当時未開の分野であった医学的リハビリテーション研究の道を歩みました。英国のロードヴィッチ・グットマン卿の下に留学し、障がい者の社会参加、特に自立とスポーツにその生涯を注ぐことになりました。1964年東京パラリンピックを提唱し日本選手団長を務め、翌1965年「太陽の家」を創設しました。

博士は、オムロン・ソニー・ホンダ・三菱商事・デンソーなど日本を代表する大企業と提携して共同出資会社をつくり、多くの重度の障がい者を雇用しました。大分国際車いすマラソン大会などのスポーツ大会開催を提唱し、国内外の障がい者スポーツの発展に尽力しました。

商品名 マグネット (メモ貼付用)

特 徴 基本デザインに文字入れが可能



- 1 料 金 大：300円、小：250円 2 対応可能数量 100個 / 3日
- 3 材 料 アクリル+紙+マグネット 4 大きさ・仕様 大：60×40、小：40×40(ミリ)
- 5 アレンジ範囲 基本デザインに文字入れ、オリジナルデザイン画での対応可
- 6 そ の 他 注文数と材料の在庫状況により、納期を調整させて頂く場合があります。

ご不明な点はお気軽に担当までご連絡ください。

施 設 名	(社福) 太陽の家	営 業 時 間	8 : 15 ~ 17 : 15
担 当	作業支援課 (植村)	T E L	0977 - 66 - 0277
F A X	0977 - 67 - 0453	E - M a i l	uemuras@taiyonoie.or.jp